

令和5年度 技術科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・実習課題に対して意欲的に取り組むことができた。
- ・ICT 機器の活用により、主体的な活動が増えた。

(2) 課題

- ・実習の中で自ら課題を見つけ解決しようとする姿勢。
- ・学習した知識を活かし、技能習得につなげる。
- ・広いテーマの中で、意欲的に課題を見つけ探求する姿勢。

2 昨年度の授業分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
意欲的に取り組んでいるが、実践的・体験的な学習活動では、技能の観点に差が出てくる生徒がいる。	実践的・体験的な学習活動では、評価に差が出てくる生徒がいる。	おおむね、あるいは、十分満足できると評価できる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
意欲的に取り組んでいるが、実践的・体験的な学習活動では、技能の観点に差が出てくる生徒がいる。	実践的・体験的な学習活動では、評価に差が出てくる生徒がいる。	おおむね、あるいは、十分満足できると評価できる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
意欲的に取り組んでいるが、実践的・体験的な学習活動では、技能の観点に差が出てくる生徒がいる。	実践的・体験的な学習活動では、評価に差が出てくる生徒がいる。	おおむね、あるいは、十分満足できると評価できる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
プリントでの学習を基本とし、ICT 機器を活用して、自ら学ぶ姿勢を身に着ける。 実技は、プリントでの学習、演示、練習と段階を踏みながら定着を図る。	プリント学習の中で課題を提示し、ICT 機器を活用して自ら考え、表現する。 実習では振り返りシートを活用し、常に活動を評価し、振り返りを促す。	社会の課題を自分のこととしてとらえられるようにスケールを設定し、解決に向けた道筋を自ら模索する姿勢を身につける。 実習では、自身の環境を考慮し、いくつかのパターンの中から適切な設計ができるように助言し、工夫して取り組む姿勢を身につける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
プリントでの学習を基本とし、ICT 機器を活用して、自ら学ぶ姿勢を身につける。 実技は、プリントでの学習、演示、練習と段階を踏みながら定着を図る。	プリント学習の中で課題を提示し、ICT 機器を活用して自ら考え、表現する。 実習では振り返りシートを活用し、常に活動を評価し、振り返りと改善を促す。	社会の課題を自分のこととしてとらえ、解決に向けた道筋を自ら模索する姿勢を身につける。 実習では、自身の環境を考慮し、適切な設計ができるように助言し、工夫して取り組む姿勢を身につける。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
プリントでの学習を基本とし、ICT 機器を活用して、自ら学ぶ姿勢を身につける。 実技は、プリントでの学習、演示、練習と段階を踏みながら定着を図る。	プリント学習の中で課題を提示し、ICT 機器を活用して自ら考え、表現する。 実習では、自ら作業についてまとめ、振り返りと改善を促す。	社会の課題を自ら発見し、解決に向けた道筋をまとめ発表する。